

私達の暮らしを支える税

長井市立長井北中学校教諭 3学年 小笠原 美穂子
 実施年月日：平成28年12月21日～26日 105名

1 実施計画・指導のねらい

生徒にとって税はあまり馴染みがなく、「買い物をする」と取られるもの「嫌なもの」といったマイナスのイメージが強いようである。また、自分たちが使っている教科書の代金が税金で賄われていること程度は知っているが、私たちの生活に欠かせない様々な社会資本の整備や社会保障など、多くのことに使われ役立っていることにまでは思い至っていない。

本単元では、税の種類や仕組みについて学んだ後に、少子高齢社会となった日本で、これからの財政をどのようにしていったらよいか自分なりの考えを持たせたい。税の大切さについての理解を深め、社会の一員として積極的に世の中のことに関わっていく態度を養いたい。

2 単元構成・実際の指導状況

時間	学習内容	○おもな発問、●生徒の反応、□使用教材等
1	「私達の生活と財政」 ・国の財政について関心を持つ。 ・税金の種類や仕組みについて理解し、税金の公平な負担について多面的・多角的に考察する。	◇ 租税教室 ○ 日本の税制にはどのような特徴があるだろうか。 ● 税金の種類や役割、財政の仕組みについて理解することができた。 □ 使用教材名 ・長谷川氏自作のカード類 ・100万円のレプリカ
2	「政府の役割と財政の課題」 ・政府が果たしている経済的な役割を理解する。 ・公債発行の実態と課題について知り、これからの財政について考える。	○ 市場経済で、政府はどのような役割を果たしているのだろうか。 ● 政府には、社会資本や公共サービスを供給すること、経済格差を改善すること、景気の安定を図ることなどの役割があることを理解できた。 ● 財政赤字の実態を知り、これからの財政について自分なりの考えを持つことができた。 □ 使用教材名 ・DVD「ご案内します アナザーワールドへ」 ・インターネットサイト「借金時計」 ・教科書『新しい社会 公民』（東京書籍）

長井税務署 総務課 財務事務官の長谷川準基氏をお招きして、租税教室を実施した。
 手作りのカードなどを使いながら、税の種類や使い道、累進課税などについてお話しいただいた。時折、クイズも交えながら、大変わかりやすく教えていただいた。

DVDの視聴により、財政の役割や税の必要性について考えを深めることができた。
 また、「借金時計」なども参考にして財政赤字の実態を知ること、公的債務残高を減少させる必要があることに気づくことができた。

時間	学習内容	○おもな発問、●生徒の反応、□使用教材等
3	「社会保障の仕組み」 ・社会保障の意義について、歴史的背景も踏まえて理解する。 ・日本の社会保障のあらましについて理解する。	○ 日本の社会保障制度はどのようになっているだろうか。 ● 社会保障の考えが生まれた歴史的背景について理解することができた。 ● 日本の社会保障には、「社会保険」「公的扶助」「社会福祉」「公衆衛生」の四つの柱があることを理解することができた。 □ 使用教材名 ・リーフレット「私たちの暮らしと税」 ・教科書『新しい社会 公民』（東京書籍） ・資料集『ビジュアル 公民』（とうほう）
4	「少子高齢化と財政」 ・少子高齢化の進展と社会保障の在り方について、現状や課題を理解する。 ・他国の事例と比較するなどして多面的に考察し、これからの日本の財政について自分の意見を持つ。	○ 少子高齢化の日本で、財政の在り方はどうあるべきだろうか。 ● 少子高齢化が進み、社会保障費が増加していくことが予想される中、これからの日本の財政や社会保障はどう在るべきか、自分なりの考えを持ち、意見を述べることができた。 □ 使用教材名 ・リーフレット「私たちの暮らしと税」 ・プリント資料「福祉国家スウェーデンに暮らして ～スウェーデンに住んでいた中学3年生の保護者の方の手記より～」 出典 『まるとと社会科 中学・公民（下）』（喜楽研） ・教科書『新しい社会 公民』（東京書籍） ・資料集『ビジュアル 公民』（とうほう）

前時で学習した、政府の役割のひとつである「経済格差の改善」とも関わらせ、社会保障の基本的な考え方や意義をつかむことができた。
 年金制度改革や後期高齢者医療制度など、時事的な内容にも触れて授業を行った。

リーフレットをもとに、今後の高齢化の進展や社会保障費増大の予想を知ることができた。
 ヨーロッパの国々の様子（プリント資料等）も参考にして「高負担高福祉・大きな政府」と「低負担低福祉・小さな政府」とを比較し、これからの日本の財政はどう在るべきかについて考えることができた。税は必要だということに気づき、自分なりの意見を書くことができた。

3 ◎実践の成果と◆課題

- ◎ 「租税教室」で、長井税務署の財務事務官 長谷川準基氏をお招きした。生徒達は、一生懸命にメモを取りながら、興味深げに話を耳を傾けていた。事前の打ち合わせをしっかりと持ったので、話していただきたいことが過不足なく網羅された講義内容となり、大変ありがたかった。
- ◎ 税は私達の生活に必要なものであること、税が私達の身の回りにあるものに生かされていると感じ取らせることができた。
- ◎ DVD「ご案内します アナザーワールドへ」やリーフレット「私たちの暮らしと税」は、大変わかりやすい内容で、生徒達に税金の必要性をとらえさせるのに有効であった。今後もぜひ活用していきたい。
- ◆ 効果的な教材や資料がいろいろあるが、授業時数に余裕がなく、じっくり見せたり読み取らせたりする時間がないのがもったいないと感じる。